



横断幕やプラカードを掲げる参加者—津市

東電や政府による汚染水海洋投棄の動きを批判し「声を上げ続けよう」と呼びかけるピラを配布し、近隣の民家へのピラ入れもしました。参加者は「場所変えは、雰囲気も変わっていい」と話しています。

「中電前なら近いから」と、久々の参加者もいました。「中電前でなんだろう」と横断幕をしっかりと見て通る人や、車の窓からのぞく人がいました。

原発なくせ三重県民会議は、毎月定例の金曜行動(第97回)をいつもの津市のセンターパレス前から同市内の中電三重支店前に変えて開きました。コロナ禍なのでスタンディングのみで、参加者は「原発なくそう!福島を忘れまい」の横断幕や「原発いらない」、「NO NUKES」などのプラカードを掲げてアピールしました。

◇津・中電支店前

汚染水投棄するな

## 9月10日 前橋市内で昼休みデモ 114回目

# 「原発撤退を」前橋に響く

「原発からの撤退を」の声を広げる114回目の昼休みデモが10日、前橋市内で行われ、約50人が参加しました。群馬県労働組合会議など県内5つの市民団体が主催。

群馬県労会議の石田清人議長が「原発廃止が持論だった人が、自民党総裁選挙へ出馬するにあたり、再稼働を認めると言い始めた。自民党は誰がやっても同じ。野党が結束して政権を代えるしか国民の苦難を救う道はない」とあいさつ。

日本共産党の、たなはしせつ子衆院群馬1区候補が「総選挙に向け野党4党は、原発撤退を含む共通政策に合意した。政権交代のために全力を尽くす」とあいさつしました。

原発をなくす前橋連絡会事務局の大橋隆さんが「最高裁に東電と国の事故責任を認めさせるため、公正な裁判を求める100万署名に協力を」と呼びかけました。

共産党の酒井宏明県議も参加しました。



市内をデモ行進する参加者10日、前橋市

# 原発再稼働ストップ



# 金曜行動 9月17日

## ◇群 馬

### 宣伝448回目

原発をなくす前橋連絡会は前橋市の前橋駅北口で448回目の宣伝に取り組み、9人がサイレントスタンディングをしました。

第1回から参加している中関直江さんは「原子力の平和利用だともてはやす人もいたが、福島第1原発の事故前から原発の安全性には疑問があった」と話しました。

毎週の宣伝で、「ふるさと」や「原爆を許すまじ」と



スタンディングやフルート演奏をする参加者―前橋駅北口

などの曲をアレンジしてフルートで演奏している唐澤一豊さんは、「日本は安全な原発開発をしていると思っていたが、高速増殖炉が話題になる頃には大いに疑問を持ち、反対するようになった。数年前にこの活動を見かけ、参加するようになった」と話しました。

## ◇香 川

### あと一つ廃炉に

「原発をなくす香川の



廃炉を求めて声をあげる白川氏(右端)ら参加者―高松市

会」と「脱原発アクションIN香川」、市民有志は、高松市の四国電力本店前で金曜行動に取り組みました。日本共産党の白川よう子衆院四国ブロック比例候補が参加しました。

参加者は廃炉を求めるさまざまなのぼり旗を手に、廃炉を求める替え歌を歌い、「再稼働反対」とコールしました。

参加した吉富キティさんは「伊方原発で(1、2号機の)二つで廃炉がすすんでいる。あと一つ廃炉にすれば原発は止まる」と話しました。別の女性(67)は「昨日も(原発のある)能登半島で地震があった。いつどこで起こるか分からないのが地震災害。早く原発を止めてもらいたい」と話しました。

# 9月17日 首相官邸前「原発いらない金曜行動」

## 原発推進政権代えよう

### 官邸前スピーチ次々

市民の声で原発のない日本を実現しようとして17日、首相官邸前で「原発いらない金曜行動」が行われました。主催

は、実行委員会。180人(主催者発表)が参加し、「原発いらない」「老朽原発動かすな」と声をあげました。



参加した市民がスピーチしました。商社九条の会の仲内節子さんは、原発推進に関わった商社に勤務し、「危険を知りながら声をあげてこなかった」と語り、福島原発

「原発やめよ」子ども未来を守ろう」と訴える参加者17日、首相官邸前

事故以降、首都圏反原発連合(反原連)の抗議に参加してきたと報告。参加者同士の交流も紹介し、引き続き声をあげていくと語りました。

かごしま反原発連合の松元成一さんは、自民党総裁選に「触れ」どの候補も原発推進であり、誰が次の総裁になっても何も変わらない」と強調。総選挙を前に鹿児島県内四つの小選挙区すべてで共闘が整っていると述べ、「総選挙で自民党政権を倒し、原発をなくそう」と呼びかけました。

ほかにも、東京電力福島第1原発での「多核種除去設備(ALPS)」のフィルターの破損を隠していた東電の姿勢を批判し「原発を動かす資格はない。柏崎刈羽原発の再稼働など許されない」などの訴えがありました。

## 9月24日「未来のための金曜日」

### 世界気候アクションが世界各地で取り組みました

「2021年10月26日 しんぶん赤旗」から抜粋した記事です。

# 私たちの未来奪うな 世界各地で気候デモ・集会



「地球を守って」と書いた手書きのプラカードを掲げる参加者。24日、ベルリン市内（桑野白馬撮影）

気候保護を求める若者の団体「未来のための金曜日（FFF）」が呼びかけた世界気候アクションが24日、各国で取り組まれました。新型コロナウイルスのパンデミックが始まってか

ら、FFFによる街頭でのデモや集会は初めて。「私たちの未来を燃やさないで」「石炭はいらぬ」と声を上げました。ドイツでは、500カ所近くで62万人が行動に参加。ベルリンの集会では、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさ

ら、2日後に迫った総選挙で気候変動対策が大きな争点となる中、選挙権のない18歳未満の若者たちも多く参加。ベルリンの集会では、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさん

んが、ドイツの政界の公約はどれも世界の気温上昇を1.5度以内に抑えるパリ協定の基準に達していないとして「投票だけでは不十分だ。わたしたちは街頭に出続けなければならない」と話しました。

78歳のマルゴットさんは「すべての世代が一緒にたたかう必要がある。子どもや孫が、汚れた地球で生きるなんて考えたくもない」と話しました。

国連総会が開催中のニューヨークでは、ラタンナ・ミルスさん（24）が「国連総会でいろんな首脳が気候変動対策を述べているが、早く行動しないと間に合わない。話している間に私たちの未来がなくなってしまう」と語りました。

トルコのイスタンブールでは、パリ協定批准を求めて若者たちが集会を開きました。

（ベルリン＝桑野白馬、ニューヨーク＝島田峰隆、イスタンブール＝秋山豊）

↓世界で②③・日本で④面

# システム変えよう、たたかうのは今

## 化石燃料投資ノー米 国

【ニューヨーク＝島田峰隆】米国では24日、首都ワシントンから西部のロサンゼルスまで少なくとも13都市で若者たちが「グローバル」多くの市民がデモ行進し、



気候危機対策を求めてデモ行進する若者たち＝24日、ニューヨーク（島田峰隆撮影）

集会を開きました。

参加者は「地球が死滅しつつある」「私たちの未来を燃やさないで」「気候ではなく今のシステムを変えよう」などと書いたプラカードを持って集結。市庁舎前の広場からウォール街

## 気候デモ 若者立つ

【ベルリン＝桑野白馬】ドイツ全土で24日、気候危機打開を求めて行動する若者の団体「未来のための金曜日（FFF）」が大規模デモを行い、FFFドイツによると、国内47

1カ所で62万人が参加しました。2日後に迫った連邦議会選挙を前に、まだ投票権のない若者も含めて、おとなたちにより真剣な気候変動対策を求めました。

ベルリン各地で約10万人が参加。約2万人が集結した連邦議会前では、「気候変動はもう否定できない」「若者の未来を奪わないで」と書いたプラカードを持

（金融街）近くの公園まで、太鼓のリズムに合わせて行進しました。

集会では、バイデン政権のもとで発足した環境正義諮問委員会の最年少メンバー、ジェロム・フォスターさん（19）が登場。2019年にホワイトハウス前で気候ストを始め、全米の若者の共感を呼びました。

フォスターさんは、気候危機により世界中で命が失われており、「企業や銀行に化石燃料への投資を続けさせるわけにはいかない」と強調。気候変動は産業革命や植民地主義の始まりとともに進んできたと言いつつ、「私たち若者はシステムの根本的な変更を議論している」と訴えました。

# Fridays For Future Japan Online Action

## 世界気象アクション



プラカードをかかげ、「気候危機見て見ぬふりはもうできない」などとアピールする参加者＝24日

### 気候危機の 課題山積み

FFFオンライン集会

Fr idays F  
or Fut ure  
Japan (FFF)  
未来のための金曜日  
は24日夜、「世界気  
候アクション0924オ  
ンラインマーチ」10  
00人で声を上げよう  
」を行い、約500  
人が参加、ユーチュ

見て見ぬふりもうできない

「被書を受けるのは温  
暖化した地球に生きる  
私たち。よりよい未来  
を生きていくことができ  
よう世界に訴えかけ  
る」と話しました。

「未来に残したいも  
の」と題した動画を作  
製したと話しました。  
SNSを通して気候  
変動の問題にとりくむ  
アクティビストのer  
iさんは愛猫と参加。

ブで約140人が視  
聴。参加者が各地の活  
動を報告しました。  
FFF横須賀（神奈  
川県）の女性は、建設  
中の2機の石炭火力発  
電所への抗議行動の後  
にマーチに参加し、日  
本政府について「（気  
温上昇の最大の原因と  
なる）石炭火力発電所  
を新しく建てようとし  
ているなら、許される  
はずはない」と批判。

間近に迫った衆院選の  
ため、インスタグラム  
（写真や動画をメイ  
ンにしたSNS）で立憲  
民主党や日本共産党の  
議員に話を聞いている  
として、「日本共産党  
の」小池晃さんは「共  
産党として気候変動対  
策に力をすこく入れて  
いる。危機意識の中で  
も一番重要な問題だ」  
と語ってくれた」と紹  
介しました。

感じている。課題は山  
積みだが、よりよい未  
来になるためにがんば  
れたら」とメッセージ  
を寄せました。  
集会の最後に参加者  
は「気候危機見て見ぬ  
ふりはもうできない」  
や「私たちの未来を奪  
わないで」などと書か  
れたプラカードをかか  
げアピールしました。

モデルでアクティビ  
ストの小野りあんさ  
んは「5年前から気候  
変動が大変だと思い、  
2年前からいてもたっ  
てもいられなくなり、  
SNS上で声を上げ始  
めた」と述べ、「私たち  
はすこく力を持ってい  
る。力を合わせたら日  
本を大きく変えられ  
る」と訴えました。

俳優の二階堂ふみさ  
んが「いまは気候変動  
はとても大変なこと  
になっている。分岐点に  
自分はいらな」と日々